

# 「スッキリ枠」

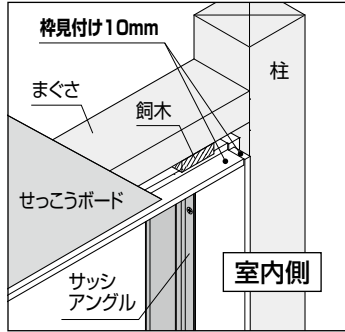
## 施工説明書

このたびは、フクビ製品 樹脂窓枠「スッキリ枠」をお買い上げいただきまして有難うございました。  
下記の施工説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

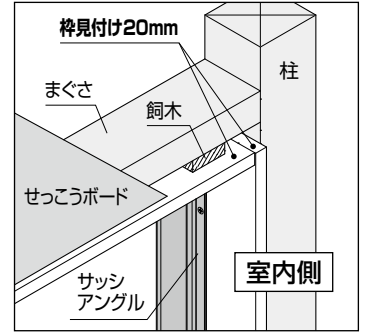
### ■設計・施工時の注意

- 本製品は、枠見付け寸法10mmおよび20mm対応となっています。壁仕上げ材の仕上げサイズにも影響しますのでご注意ください。
  - 設計・施工時、切断の際に4方枠見付け側化粧仕上げ面の向きにご確認ください。
  - 設計・施工時、4方枠組み立ての際、タテ枠側2mm程度勝ちとなるようにずらして納めてください。
  - 窓枠・窓台を柱、間柱、及びまぐさに取り付ける際は、必ず隙間を設けてください。この隙間は飼木(現場調達)の厚みによって変わるので、飼木に合わせてサッシ及びサッシアングルの取付位置を調整してください。
- ※飼木には、合板などの乾燥した木材を使用し、湿潤な材料は絶対に使用しないでください。  
※窓枠の長さカットでサイズ調整することで、規格より小さいサイズのサッシにも施工可能です。  
※サッシ高さが1,300mm、横幅1,650mmを超える窓には使用しないでください。

### 枠見付け10mm納まり



### 枠見付け20mm納まり



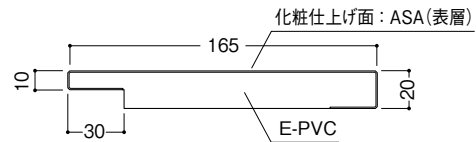
### ■規格

※姿図は枠見付け10mmの場合を示します。

700×1,650mm以下		※納まり一例	
	姿 図		姿 図
呼 称	セット内容	呼 称	セット内容
スッキリ枠 4方枠セット	800mm×2本 1,800mm×2本	スッキリ枠 フリー枠セット	1,800mm×2本 ※1本を2分割して 2辺分とする

●色：ホワイト／●枠見付け：前後10mm・20mmのリバーシブル

### ■製品図



### ■あらかじめご用意いただくもの

- 枠組み用造作ビス(φ3mm程度)／●枠留め付け用ビス(φ3.8mm程度)
- 電動ドリルおよびドライバー／●電動丸鋸／●先穴用ドリル刃(φ2~2.5mm)

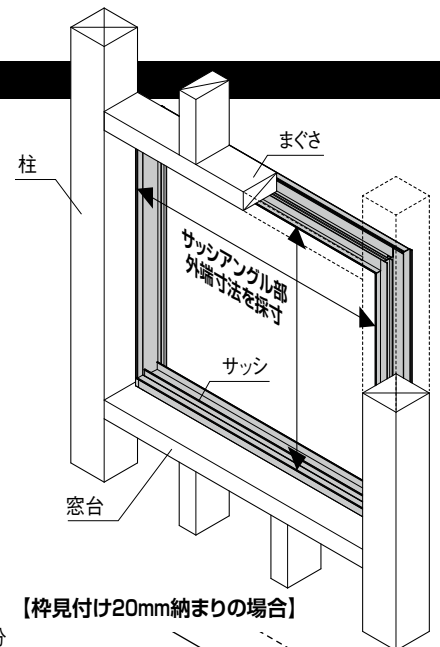
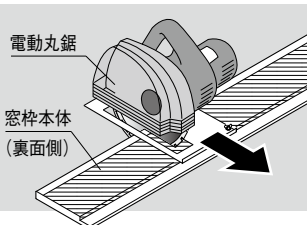
### ■施工手順

## 1. 開口部の寸法測定、窓枠の切断

### 開口部のサイズの採寸・窓枠加工

- ①窓枠を組む、開口部(サッシアングルの外端)のサイズの計測を行ってください。
- ②採寸したサイズに合わせて、タテ勝ち納めとなるようにタテ枠の長さとお行を調整して窓枠材の必要な長さ×奥行を割り出し、電動丸鋸を用いてカットしてください。(■参考納まり図参照)

- ⚠注意**
- タテ枠の奥行は、ヨコ枠の奥行よりも2mm程度大きくするように切断する。
  - ※せっこうボード仕上げからのチリが、タテ枠12mm・ヨコ枠10mmを推奨
  - 丸鋸を使用する場合は、製品の化粧仕上げ面にキズが付かないよう、製品裏面でガイド金具がスライドするよう製品の表裏の向きを変えて切断する。(右図参照)



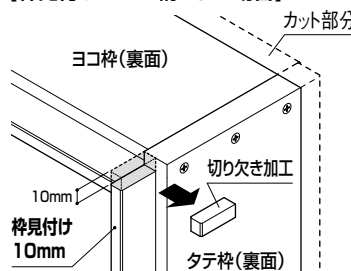
## 2. 窓枠セットの組み立て

### カットした窓枠材を4方枠に枠組み

- ①ドリルで先穴(φ2~2.5mm)を開け、ビス(φ3mm程度、現場調達)でタテ枠側面よりヨコ枠へ取り合い部につき3箇所ビス留めを行ってください。
- ②枠組み完了後、枠見付け10mm納まりの場合は、タテ枠上部と下部の計4箇所切り欠き加工をしてください。(右図参照)

- ⚠注意**
- 枠見付けは裏表で10mm・20mmのリバーシブル。
  - 枠組みを行う際のビス留め位置は、枠見付けがどちらの場合でもタテ枠・ヨコ枠が20mm厚の部分とする。
  - 4方枠ではなく、下枠として使用する場合、この工程は省く。

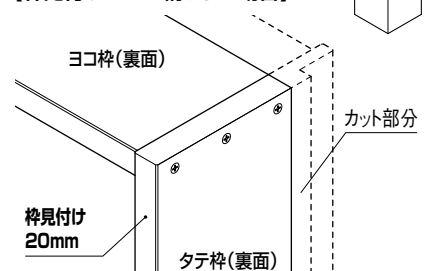
### 【枠見付け10mm納まりの場合】



### タテ枠上下部の切り欠き

- ヨコ枠の取り付け位置に合わせてタテ枠上部と下部(左右4箇所)の切り欠き加工を施します。

### 【枠見付け20mm納まりの場合】



### タテ枠上下部の切り欠き

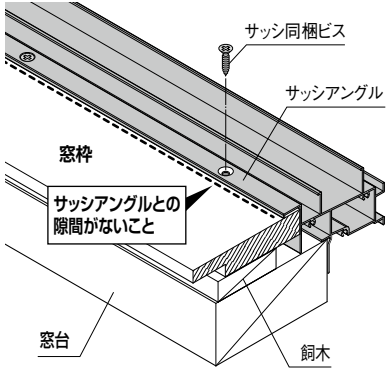
- 不要です。

### 3. 窓枠セットの取付け

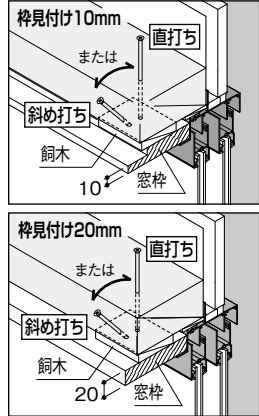
#### 窓枠セット(4方枠)の嵌め込み・ビス固定

- ①組み立て終わった窓枠セットをサッシアングルに嵌め込み、(サッシアングル側より)サッシ同梱ビスで窓枠を固定してください。
- ②窓枠と開口部の躯体の間に飼木を約300mmピッチで入れ、飼木ごと躯体と窓枠をビス打ちで固定します。(φ3.8mm程度、現場調達)

#### ①サッシアングルへの嵌め込み・ビス留め

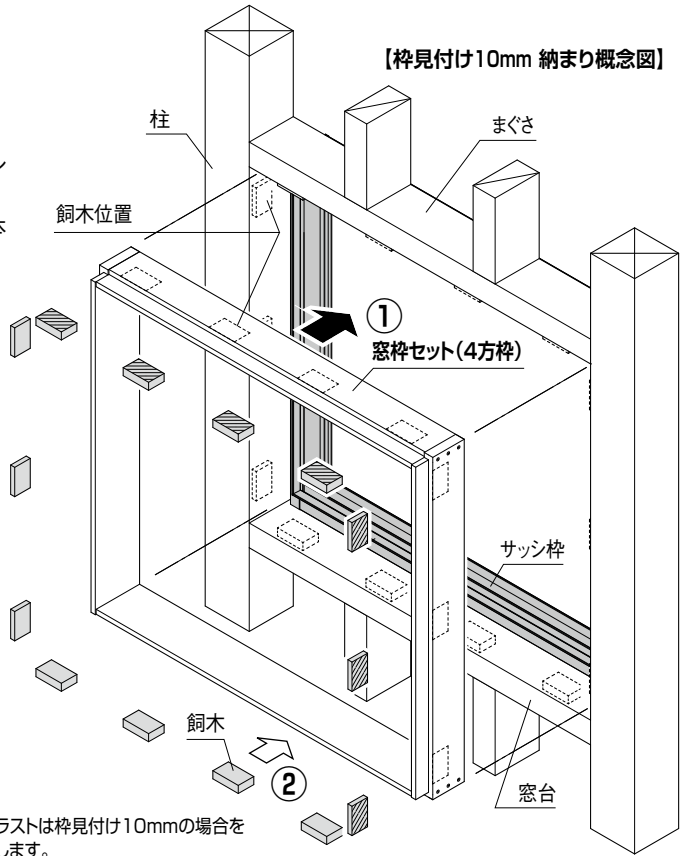


#### ②ヨコ枠(タテ枠)のビス留め



- 注意**
- サッシアングルと窓枠をビス固定する際は、スペーサーを利用するなどし、隙間がないことをしっかり確認する。
  - 窓枠を固定する際は、躯体から斜め打ち、もしくは垂直に飼木を貫いてビス留めを行う。

【枠見付け10mm 納まり概念図】



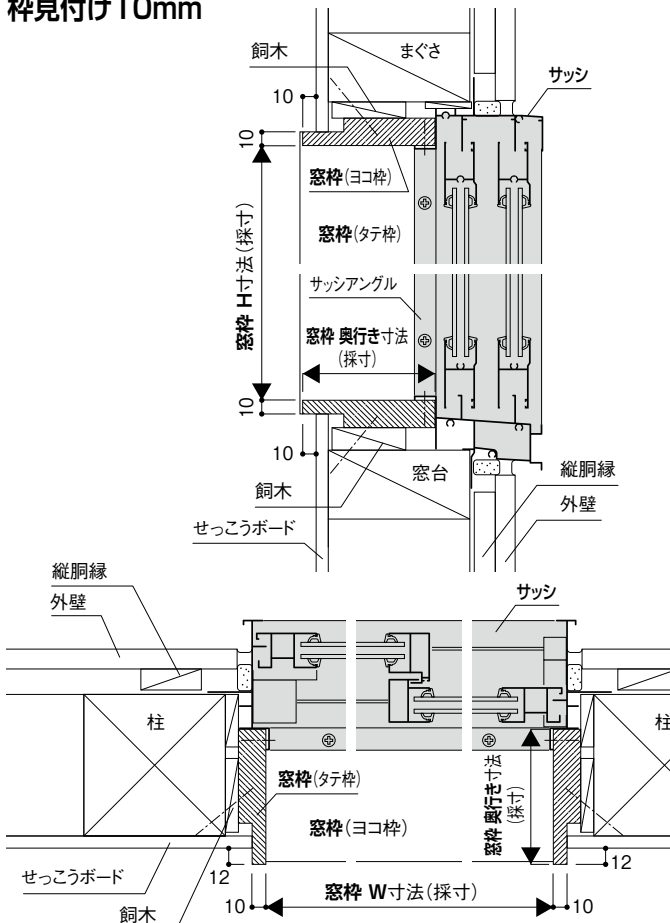
※イラストは枠見付け10mmの場合を示します。  
 ※サッシ施工時の防水処理・飼木などは便宜上、省略しています。

#### 参考納まり図

※サッシ施工時の防水処理などは便宜上、省略しています。

#### 木造納まり

#### 枠見付け10mm



#### 枠見付け20mm

